【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成20年2月28日(2008.2.28)

【公表番号】特表2004-507444(P2004-507444A)
【公表日】平成16年3月11日(2004.3.11)
【年通号数】公開・登録公報2004-010
【出願番号】特願2001-554669(P2001-554669)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　45/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　 9/12　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/09　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/196　 (2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/455　 (2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/47　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/36　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/40　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　11/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　11/06　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　11/08　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　45/00
Ａ６１Ｋ　 9/12
Ａ６１Ｋ　31/09
Ａ６１Ｋ　31/196
Ａ６１Ｋ　31/455
Ａ６１Ｋ　31/47
Ａ６１Ｋ　47/36
Ａ６１Ｋ　47/40
Ａ６１Ｐ　11/00
Ａ６１Ｐ　11/06
Ａ６１Ｐ　11/08
Ａ６１Ｐ　43/00　　１１１

【手続補正書】
【提出日】平成20年1月8日(2008.1.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
慢性閉塞性肺疾患（ＣＯＰＤ）、炎症性肺疾患、嚢胞性線維症、および急性もしくは慢性の感染性疾患からなる群より選択される、呼吸器系疾患に関連するか、または吸収不良症候群、脂肪便、および下痢からなる群より選択される、嚢胞性線維症関連性胃腸管疾患に関連する、ムチン過剰産生を制御することによる被験体の処置のための医薬品の製造における組成物の使用であって、該組成物は、タルニフルマートまたはその薬学的に受容可能な塩を含む、使用。

【請求項２】
請求項１に記載の使用であって、ここで、前記ＣＯＰＤは、気腫、慢性気管支炎、および喘息からなる群より選択される、使用。
【請求項３】
請求項１に記載の使用であって、ここで前記疾患状態は、肺における抗原誘発性応答の結果である、使用。
【請求項４】
請求項３に記載の使用であって、前記抗原誘発性応答は、気管支過剰応答、好酸球増加症および気管支洗浄における細胞数の上昇、血清ＩｇＥの上昇、組織学的変化ならびに杯細胞および粘膜下腺細胞の過形成からなる群より選択される、使用。
【請求項５】
請求項１に記載の使用であって、ここで、前記ムチン産生は、塩素チャネル依存性である、使用。
【請求項６】
請求項５に記載の使用であって、ここで、前記塩素チャネルは、ＩＣＡＣＣ塩素チャネルである、使用。
【請求項７】
請求項１に記載の使用であって、ここで、前記組成物は、シクロオキシゲナーゼ酵素を阻害する、使用。
【請求項８】
請求項７に記載の使用であって、ここで、前記シクロオキシゲナーゼ酵素は、シクロオキシゲナーゼ２である、使用。
【請求項９】
請求項１に記載の使用であって、ここで前記組成物は、局所的に、経口的に、非経口的に、または吸入により、前記被験体に投与されることを特徴とする、使用。
【請求項１０】
請求項９に記載の使用であって、ここで、前記局所的に投与される組成物は、溶液、懸濁液、ゲル、軟膏（ｏｉｎｍｅｎｔ）、軟膏（ｓａｌｖｅ）またはローションである、使用。
【請求項１１】
請求項９に記載の使用であって、ここで、前記経口的に投与される組成物は、錠剤、カプセル剤、シロップ剤またはエリキシル剤である、使用。
【請求項１２】
請求項９に記載の使用であって、ここで、前記非経口的に投与される組成物は、静脈内に、腹腔内に、病巣内に、皮下にまたは筋肉内に与えられることを特徴とする、使用。
【請求項１３】
請求項９に記載の使用であって、ここで、前記吸入される組成物は、液体または粉末である、使用。
【請求項１４】
請求項１３に記載の使用であって、ここで、前記吸入される組成物は、エアゾール化されている、使用。
【請求項１５】
請求項１３に記載の使用であって、ここで、前記吸入される組成物は、計量用量器によって投与されることを特徴とする、使用。
【請求項１６】
請求項９に記載の使用であって、ここで、前記組成物は、約０．０１ｍｇ／ｋｇ／日～約１００ｍｇ／ｋｇ／日の量で投与されることを特徴とする、使用。
【請求項１７】
請求項１６に記載の使用であって、ここで、前記組成物は、約０．１０ｍｇ／ｋｇ／日～約１０ｍｇ／ｋｇ／日の量で投与されることを特徴とする、使用。

【請求項１８】
請求項１に記載の使用であって、ここで、前記組成物は、少なくとも１種のさらなる治療剤をさらに含む、使用。
【請求項１９】
請求項１８に記載の使用であって、ここで、前記少なくとも１種の治療剤は、抗喘息剤、去痰薬、粘液溶解剤、抗生物質、抗ヒスタミン薬、鬱血除去薬、βレセプターアゴニストおよびプリンレセプターアゴニストからなる群より選択される、使用。
【請求項２０】
請求項１９に記載の使用であって、ここで、前記去痰薬はグアイフェネシンである、使用。
【請求項２１】
請求項１に記載の使用であって、ここで、前記組成物は、界面活性剤、吸収増強剤、安定剤、矯味矯臭剤および薬学的に受容可能なキャリアからなる群より選択される少なくとも１種のメンバーをさらに含む、使用。
【請求項２２】
請求項２１に記載の使用であって、ここで、前記安定剤は、シクロデキストランである、使用。
【請求項２３】
請求項２１に記載の使用であって、ここで、前記吸収増強剤は、キトサンである、使用。
【請求項２４】
請求項１に記載の使用であって、ここで、前記被験体はヒトである、使用。
【請求項２５】
慢性閉塞性肺疾患（ＣＯＰＤ）、炎症性肺疾患、嚢胞性線維症、および急性もしくは慢性の感染性疾患からなる群より選択される、呼吸器系疾患に関連するか、または吸収不良症候群、脂肪便、および下痢からなる群より選択される、嚢胞性線維症関連性胃腸管疾患に関連する、ムチン過剰産生を制御することによる被験体の処置のための組成物であって、該組成物は、タルニフルマートまたはその薬学的に受容可能な塩を含む、組成物。
【請求項２６】
請求項２５に記載の組成物であって、前記ＣＯＰＤは、気腫、慢性気管支炎、および喘息からなる群より選択される、組成物。
【請求項２７】
請求項２５に記載の組成物であって、ここで前記疾患状態は、肺における抗原誘発性応答の結果である、組成物。
【請求項２８】
請求項２７に記載の組成物であって、前記抗原誘発性応答は、気管支過剰応答、好酸球増加症および気管支洗浄における細胞数の上昇、血清ＩｇＥの上昇、組織学的変化ならびに杯細胞および粘膜下腺細胞の過形成からなる群より選択される、組成物。
【請求項２９】
請求項２５に記載の組成物であって、前記ムチン産生は、塩素チャネル依存性である、組成物。
【請求項３０】
請求項２９に記載の組成物であって、前記塩素チャネルは、ＩＣＡＣＣ塩素チャネルである、組成物。
【請求項３１】
請求項２５に記載の組成物であって、前記組成物は、シクロオキシゲナーゼ酵素を阻害する、組成物。
【請求項３２】
請求項３１に記載の組成物であって、前記シクロオキシゲナーゼ酵素は、シクロオキシゲナーゼ２である、組成物。
【請求項３３】

請求項２５に記載の組成物であって、ここで前記組成物は、局所的に、経口的に、非経口的に、または吸入により、前記被験体に投与されることを特徴とする、組成物。
【請求項３４】
請求項３３に記載の組成物であって、前記局所的に投与される組成物は、溶液、懸濁液、ゲル、軟膏（ｏｉｎｍｅｎｔ）、軟膏（ｓａｌｖｅ）またはローションである、組成物。
【請求項３５】
請求項３３に記載の組成物であって、前記経口的に投与される組成物は、錠剤、カプセル剤、シロップ剤またはエリキシル剤である、組成物。
【請求項３６】
請求項３３に記載の組成物であって、前記非経口的に投与される組成物は、静脈内に、腹腔内に、病巣内に、皮下にまたは筋肉内に与えられることを特徴とする、組成物。
【請求項３７】
請求項３３に記載の組成物であって、前記吸入される組成物は、液体または粉末である、組成物。
【請求項３８】
請求項３７に記載の組成物であって、前記吸入される組成物は、エアゾール化されている、組成物。
【請求項３９】
請求項３７に記載の組成物であって、前記吸入される組成物は、計量用量器によって投与されることを特徴とする、組成物。
【請求項４０】
請求項３３に記載の組成物であって、前記組成物は、約０．０１ｍｇ／ｋｇ／日～約１００ｍｇ／ｋｇ／日の量で投与されることを特徴とする、組成物。
【請求項４１】
請求項４０に記載の組成物であって、前記組成物は、約０．１０ｍｇ／ｋｇ／日～約１０ｍｇ／ｋｇ／日の量で投与されることを特徴とする、組成物。
【請求項４２】
請求項２５に記載の組成物であって、前記組成物は、少なくとも１種のさらなる治療剤をさらに含む、組成物。
【請求項４３】
請求項４２に記載の組成物であって、前記少なくとも１種の治療剤は、抗喘息剤、去痰薬、粘液溶解剤、抗生物質、抗ヒスタミン薬、鬱血除去薬、βレセプターアゴニストおよびプリンレセプターアゴニストからなる群より選択される、組成物。
【請求項４４】
請求項４３に記載の組成物であって、前記去痰薬はグアイフェネシンである、組成物。
【請求項４５】
請求項２５に記載の組成物であって、前記組成物は、界面活性剤、吸収増強剤、安定剤、矯味矯臭剤および薬学的に受容可能なキャリアからなる群より選択される少なくとも１種のメンバーをさらに含む、組成物。
【請求項４６】
請求項４５に記載の組成物であって、前記安定剤は、シクロデキストランである、組成物。
【請求項４７】
請求項４５に記載の組成物であって、前記吸収増強剤は、キトサンである、組成物。
【請求項４８】
請求項２５に記載の組成物であって、前記被験体はヒトである、組成物。